

2018 年度修士論文中間発表会のお知らせ

地理学教室修士論文中間発表会を、以下の要領で開催します。

日時： 10月2日(火) 10:00~17:00

10月3日(水) 10:00~17:00

場所： 8号館7階・8階 東側エレベーターホール

本発表会はポスター発表形式です。ポスターはパネル(高さ170cm, 幅118cm)に貼れるサイズで作成してください。

コアタイム(10:30~12:00)は10月2日(A)と10月3日(B)の2グループに分かれます。

	氏名	発表タイトル	コアタイム
1	井上明莉沙	津波被災地の介護サービス事業所職員がもつ経験による知識からみた情報伝達のあり方	A
2	津田杜明	盛岡以北における北上川上流域の段丘形成史	A
3	山川大智	東京都青ヶ島に於ける無人航空機(UAV)による海食崖三次元モデルの作成と分析	B
4	山崎拓弥	黒潮流路と関東地方の降水降雪現象について	B
5	石崎春花	1km メッシュ解析雨量を用いた日本全国の水収支解析	A
6	星 亮輔	冬季 AO と続く夏季の気候の関係性の長期変化	A
7	藤原周平	暖候期の東アジアにおける大雨の頻度と強度の長期変化	B
8	桑田憲吾	天井川の形成過程に関わる要因の検討:滋賀県湖南市の天井川について	B
9	中三川光	北海道北東部における局地風の気候学的研究	A
10	藤井優作	都市公園における公園整備の変化とその背景	A
11	井堀雄介	長野県における黒ボク土の分布規定要因の検索 ー特に農業的土地利用の観点からー	B
12	萩谷嵐	台風接近時における関東平野南岸沖の温度傾度と降水との関係	B
13	前原 翔吾	UAV による高解像度画像を用いたアマモ場調査手法の検討-福島県松川浦・北海道能取湖を例に-	A
14	藤塚大輔	夏季の東京都区部における対流性降水の発達と環境場の特徴	A
15	加藤佑一	福島県棚倉付近の久慈川水系と阿武隈川水系の段丘地形と河川争奪について	B
16	青砥和希	写真による地域表象研究 ー家族写真の地域アーカイブに向けてー	B

- 1~8 が 8 階, 9~16 が 7 階で, それぞれ発表予定です。
- パネルは発表会前日の夕方に会場に設置します。10月2日(火)10:00までに指定されたパネルにポスターを掲示して下さい。コアタイムの日時に関係なく、ポスターの掲示は10月2日・3日の2日間です。
- 本発表会は、博士後期課程のセミナーおよび博士前期課程の特別セミナーに該当します。コアタイム等の議論に参加した院生は、ポスター横の紙への記名を忘れないようにしてください。
- 学部生も興味のある方は遠慮なく参加して下さい。
- 要旨は教室 HP からダウンロードできます(9月26日以降の予定)。

問い合わせ先: 川東 正幸(大学院担当教務委員) kawahigashi-masayuki@tmu.ac.jp